

國暉酒造

建築年代：江戸後期以降

概要：主屋は、漆喰壁、板壁を使用し、出桁（でげた）や持ち送り梁（もちおくりばり）、木返格子（きがえしごうし）、平格子（ひらごうし）が施されている伝統的な町家。

蔵は松江藩・松平家から譲り受けた。煙突が印象的。お店では、蔵出しそのままの味を試飲できる。



かげやま呉服店

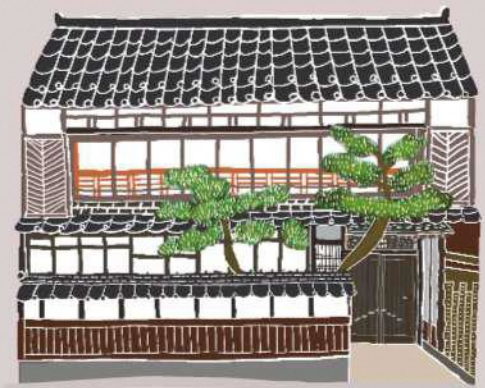
（旧第三国立銀行松江支店）
建築年：明治37年（1904）

概要：岡田時太郎氏（1859-1926）の設計。松江市で一番古い銀行建築。寄棟風にのせた和瓦、白い漆喰壁や来待石製の建物基礎、第三銀行の「三」のマークが付く鬼瓦が特徴的。金融街だった当時のまちの面影を今に伝えている。お店では、着物の販売やレンタル、着付け教室も開催されている。



旧紳士服トラヤ

（元山陰道産業株式会社）
建築年：昭和7年（1932）
概要：成田光二郎氏（1892-1970）の設計。アールデコ調の飾り窓とその間のブドウ・ヤギ・サル・子供などをデザインした来待石製の8枚のレリーフが特徴的。今は工藝品を売るお店「objects」が素敵な水辺の景観を演出している。



旧料亭久の家

建築年：昭和12年（1937）
概要：通りに面した漆喰塀と松の木が印象的な元料亭の建物。塀には蛙に乗った瓦が葺いてあり、所有者の遊び心が垣間見える。矢筈（やはず）<弓矢の尾の形>に板を張った戸袋、開いた竹を張った庇（ひさし）の天井、玄関上部の舟虫食い欄間（ふなむしくいらんま）などが華やかで優美。



まるでその時代にタイムスリップしたかの
ような雰囲気を感じる。
松江の古くて美しい歴史的建造物に
会いに行こう。



松江市歴史的建造物 おさんぽMAP

山口薬局

建築年代：明治中期
概要：山口家は安永元年（1772）開業の商家。明治の町家建築。屋根は出雲地方特有の左棧瓦（ひだりさんがわら）や来待石製の棟石を用い、腕木（うでき）の先端に練り形を施した出桁造（でげたづくり）。小泉八雲は、ここで販売されるビールを愛飲していたのだとか。お店では、漢方薬のほかに、生姜茶やレトロなガラス瓶なども販売されている。



編集・発行
松江市歴史まちづくり部
まちづくり文化財課
電話（0852）55-5956

松江市登録歴史的建造物